



学校だより

10月号

横浜市立若葉台西小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/wakabadainishi/>

2006年9月29日発行



合同運動会から学ぶ

学校長 井上 光枝

「わたしはうでにけがをして、さいしょは全部見学かと思いましたができるようになりました。80m走は速くは走れなかったけど走れるようになりました。ソーランぶしは3校でおどって楽しかったです。」「わたしのいる白組は3年れんぞくで負けてしまったのでとても残念です。でもみんな笑顔でがんばったので友情の花は咲いていると思います。いつも教えてくれた先生方、応援してくれたおうちの方がた、ありがとうございました。」これは若葉台3小学校合同運動会、閉会式での終わりの言葉です。今までの3倍の人数の中で緊張も大きかったと思いますが、本校の3年生が堂々と述べました。司会の5年、6年生もはっきりと分かりやすく立派でした。大勢の地域の方、保護者の方、ご家族の方々に応援していただき、若葉台で大切にされている子どもたちは精一杯自分の力を出すことが出来ました。たくさんのご支援、ありがとうございました。

今年の運動会は、3校がひとつになったときの具体的なイメージが分かり、来年に向けてわくわく度が増してきたのではと思います。知らない人との出会い、知らない場の雰囲気が子どもたちに力を与えてくれました。今までと同じ80m走、「飛翔」にしても違う人とやる、大勢とやることにより今までと違った緊張感やがんばるための力が出せたことでしょう。少人数の環境では細やかに個々に配慮して目を配ることが出来ます。しかし、大勢の中でこそ育てられる力もあります。あまり知らない仲間と同じ活動をするとき、自分はどうすればいいのかなと、いつもより気を使ったり周りの様子を見ようとしたりします。そして、状況を把握して判断し、行動に移すのです。競争心もこれまで以上に湧くでしょう。その学びは社会の中で生きていく上での学びに似ています。小さな集団は家族の安心感と似たものがあります。大きい集団は、新しいことを吸収したり未知のことに立ち向かっていったりする力が育ちます。今後この両方を融合させていきたいと考えます。

先日、新通学路（案）の安全について、市教委・区役所・自治会・PTA・学校の代表が集まり、これまでにやったことや改善のために担う分担をはっきりさせて取り組むことが再度確認されました。若葉台の皆様大切にされているからこそ、伸びやかに育つ子どもたちです。学校は、「若葉台の子どもたちに『生きる力』を育むには」という大命題に沿ってどのような教育目標を掲げ教育活動を行えばよいか、具体的に進めていきます。